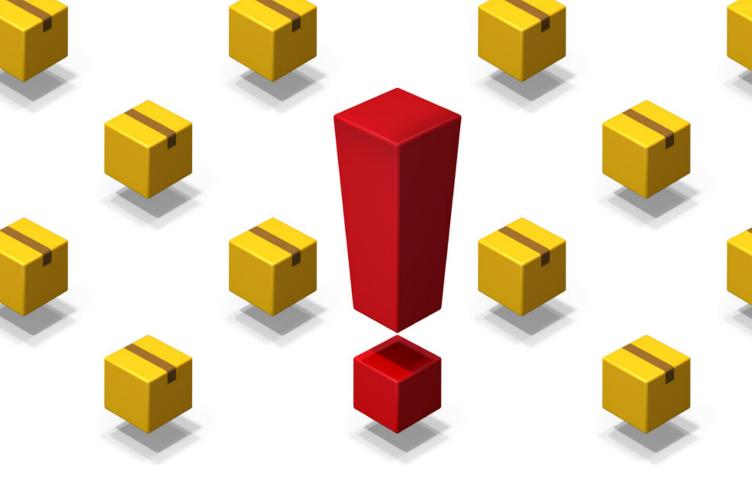
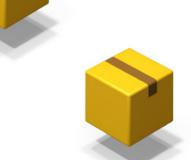




- ●第42回全国高等学校ハンドボール選抜大会
- ●第14回春の全国中学生選手権大会

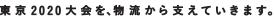


世界が驚く、物流をつくろう。

















東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー



プレミアム・リゾートという選択

一戸建て住宅型有料老人ホーム



メディケアサポートHABA

2017年12月伊豆高原にオープン

12/1(金)より予約申し込み開始!

☎ 0557-51-7887 (担当 土屋・はば)

私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランをご提案しております。自社ブランドである『YURIKA ROSE』(ユリカロゼ)シリーズや、社有物件も展開!特望の2020年『東京オリンピック』まで、いよいよカウントダウンが始まりました。

弊社も選手達と共に邁進していきますので、どうぞよろしくお願い 致します。



私達、株式会社ユリカコーポレーションは 女子ハンドボールを応援しています!!

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202 TEL: 03-3525-8986 / FAX: 03-5295-8188 http://yurika-co.jp/





あたたかい空へ。あたらしい空へ。





味の素(株)は「勝ち飯®」メニューを選手に提供することで、 東京2020オリンピック・パラリンピック日本代表選手団を応援しています。

















【 がんばる人のチカラになるごはん 】

月券5包反。

オリンピック・パラリンピック日本代表選手団が、世界で勝つために。 味の素(株)は、独自の栄養プログラム「勝ち飯®」メニューで、 彼らのカラダづくりを支えています。









CONTENTS

○7 審判員の心得10箇条 ~レフェリーは素晴らしいハンドボールを創造する陰の演出者でなければならない~──(公財)日本ハンドボール協会理事・福島亮一

第42回全国高等学校ハンドボール選抜大会

- 09 最終順位
- 11 総評――千葉県高体連ハンドボール専門部委員長・平松 裕
- 12 男子優勝:県立香川中央高校――主将・田井健志
- 13 女子優勝:明光学園高校——主将・柿添まどか
- 14 男子戦評
- 15 女子戦評
- 16 男子トーナメント表
- 17 女子トーナメント表

第14回春の全国中学生選手権大会

- 18 最終順位
- 19 大会を振り返り――富山県中体連ハンドボール部専門委員長・瀬川裕二
- 21 男子優勝:福井市明倫中学校——主将·長谷川惣唯
- 22 女子優勝: 小松市立芦城中学校——主将·中川舞香
- 23 男子トーナメント表
- 24 女子トーナメント表
- 26 【熊本通信】2019 女子ハンドボール世界選手権大会のボランティアを募集します!
- 28 【シリーズ:東京オリンピックに向けて(その2)】

1964 東京五輪:ハンドボール競技開催の悲願ならず!

がんばれハンドボール 20 万人会「サポート会員」3 月入会・継続会員

【北海道】小島収治【山形】五島訓二【茨城】田中 将、稲吉 繁、田中汀子【栃木】加藤明夫【埼玉】沼倉陽子、沼倉 久、高田 誠【千葉】勝侯裕二、吉田 修、窪田 優【東京】金賀東子、森松誠二、山﨑貴士、田村公孝、徳高康弘【神奈川】植村 繁【静岡】吉永康二【愛知】西村亮治、濱添陽充、宮地光男【三重】中村昭夫【兵庫】丸茂康子【高知】有光正憲【長崎】藤山聖子【宮崎】江夏正弘、江夏拓哉

次号6月号(№ 592)は6月1日発行予定です。

OSAKI



限られた資源だから、有意義に使っていきたい。 命あるものたちが共存する地球だから、

快適な環境を守っていきたい。

計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、 ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、 つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社

本社 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア TEL.(03)3443-7171(代表)



審判員の心得10箇条

~レフェリーは素晴らしいハンドボールを創造する陰の演出者でなければ ならない~



公益財団法人 日本ハンドボール協会 理事 競技・審判委員長福島 亮一

平素より審判委員会へのご理解およびご協力に感謝申し上げます。私のハンドボール人生の大半を占めた「平成」の時代も幕を閉じ、本日より新しい「令和」の時代が幕開けしました。2019熊本、2020東京を皮切りに、日本のハンドボール界がさらなる飛躍、発展の時代になるよう、精一杯つとめさせていただきます。

以下に、本年度の審判員目標「審判員の心得 10 箇条」を提示します。ハンドボールに携わる立場として大切にしていきたい内容です。審判員への指導内容としてご一読いただければ幸いです。

今後とも、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

①リーダーシップ (Leadership)

レフェリーはゲームを管理・運営していく指揮者でなければならない。モダンハンドボールの考え方を踏まえ、カテゴリーに応じて、必要な笛は吹きながらも、無駄な中断をさせず、試合をスムーズに進めていくことが求められる。また、「ボディーランゲージ」を用いて、チーム・監督に基準等を明確に伝える努力を怠らないこと。そのためには、指揮者として選手にどのようなゲームをさせたいかというハンドボール感あるいはハンドボール理念を持たなければならない。

②誠実さ (Honesty)

レフェリーは誠実でなければならない。勝敗の行方がどうであっても最善を尽くし、 ひとつひとつを丁寧に、特に初心者のプレイほど丁寧に吹笛する必要がある。

③ルールに関する知識 (Knowledge of the Rule)

ルールを熟知していること、さらにその根底にある意図・思想を理解すること。特にルールが変更した際には、その変更の根拠を的確に把握すること。スポーツの考え方として反則された者が不利に、反則した者が有利になってはならない。

④冷静さ (Firmness)

レフェリーは感情的になってはならない。レフェリーは瞬間、瞬間に冷静で、適切

な判断をする必要がある。常にゲームの流れ、雰囲気を感じながら、信念を持ち、毅然と判定しなければならない。

⑤正しい判断 (Good Judgement)

よく観察し、はっきり確認したものだけを判定する。決して予測で吹笛してはならない。アドバンテージルールがあるので、見えた全てを判定するのではなく、プレイが発展するかどうかを見極めなければならない。発展性がないプレイに関して、カテゴリーによっては早めに笛を吹くことも大切となる。

⑥身体上の適正 (Good Fitness)

素晴らしい笛(タイミング、判定基準)は、良い位置に素早く移動して、適切に判定することから生まれる。「We must run, too」と IHF レフェリーも言っている。日々のトレーニングを怠ってはならない。

⑦ユーモアのセンス (Sense of Humor)

ユーモアはなくて困るものではないが、もしも、選手を罰するとき微笑を持ったなら、 あなたの温かい心(ともに試合を作り出そうとする人間性)が相手に伝わるはずである。

⑧勇気 (Courage)

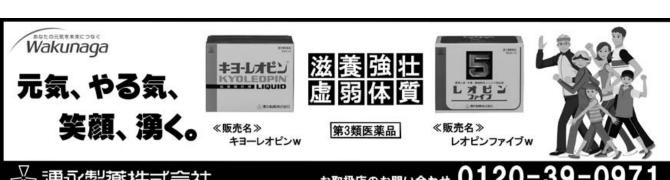
監督・選手が恩師や先輩であっても、ルールはルール。たとえ罰則であっても勇気 を持って公平、的確に判定しなければならない。

9協調性 (Cooperation)

競技場には二人のレフェリーペアがいることを常に意識しなければならない。また 二人しかいないことも忘れてはならない。そのため、二人で力を合わせ、協調しなが らゲームを運営しなければならない。チーム・競技役員・補助役員からの協力がない とゲームを運営できないことを心得ておくこと。

⑩仲間意識 (Fellowship)

協調性とほぼ同じであるが、ハンドボールを支える様々な方の存在に気づき、その存在を認めること。そしてゲームや大会が終了した後、お互いを褒め称えることも忘れずに。



通河製藥株式会社

お取扱店のお問い合わせ 0120-39-0971 (通話料無料) 受付時間 9:00~12:00~13:00~17:00 (土日採日を除く



第42回全国高等学校ハンドボール選抜大会

開催期間 2019年3月24日~3月29日

開催地 埼玉県・千葉県

会 場 キッコーマンアリーナ、市川市国府台市民 体育館、市川市塩浜市民体育館、三郷市総 合体育館、八潮市鶴ケ曽根エイトアリーナ、 吉川市総合体育館

最終順位

【男子】

優 勝:県立香川中央高等学校(四国・香川県)

準優勝:高岡向陵高等学校(北信越・富山県)

3 位:北陸高等学校(北信越・福井県)

県立不来方高等学校(東北・岩手県)

【女子】

優勝:明光学園高等学校(九州・福岡県)

準優勝:白梅学園高等学校(関東・東京都)

3 位:県立那覇西高等学校(九州・沖縄県)

県立不来方高等学校(東北・岩手県)



総評

千葉県高等学校体育連盟ハンドボール専門部委員長 平松 裕

遡ること平成 25 年の愛知全国選抜の頃に、「兵庫の次の開催地は、関東で」という話が伝わってきたことを思い出します。 関東専門部内の会議を経て、前回関東開催時に担当していない県で開催することになりました。そこで当時の井川埼玉県 委員長と会場や役員の数等を考慮し、共同開催の道を探り始めました。過去に選抜大会の共同開催の例がないこともあり、 その方法が認めてもらえるかどうかというスタートでした。

そして、共同開催 OK の GO サインのもと動き出したのですが、会場・役員の心配が軽減されたのもつかの間、宿泊・式典・資金集め・輸送計画等々次から次へと課題が露呈し、四苦八苦の5年間でした。それぞれの得意分野を活かしながら、年明けからは毎週のように両県の合同会議を招集し、意見を出し合いながら準備を進め、少ない予算の中で何とか開催に漕ぎつけることが出来ました。

開会式のホール式の開催や試合会場の施設設備、駐車場の問題等々出場チームの皆様には、今までにはないご迷惑やご 苦労をお掛けしたのではないかと思います。今回の反省や各関係者から頂いた貴重なご意見を活かして、来年度の大会開 催に向けて準備を進めたいと思います。

試合に目を向けてみますと、女子では1回戦から2試合が延長戦となり、そのうち1つは7mスローコンテストとなる好ゲームが見られました。男子においても、シードチーム2つがベスト4進出を逃すなど、多くの白熱した好ゲームの連続でした。ベスト4へ進出したチームを見てみますと、男子は北信越2チームと東北、四国ブロックのチームが残り、女子は、シードチームが順当に勝ち上がり九州2チームと関東、東北ブロックとなりました。今年の全国強豪チームの勢力図が見えてきた大会となりました。また、各ブロックの予選を勝ち抜いたチームも男子41チーム中8チーム、女子は41チーム中4チームが初出場というフレッシュな顔ぶれも見られました。

地元チームは、男子は埼玉県が3チーム、千葉県が1チーム、女子は千葉県が2チーム、埼玉県が1チーム出場し、男子の浦和学院がベスト8に入りました。メダルには一歩届きませんでしが、この7チームの出場がそれぞれの県内レベルアップに繋がることと信じています。

この大会の開催にあたり、日本ハンドボール協会、全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部、関東高等学校体育連盟ハンドボール専門部、山梨県高等学校体育連盟ハンドボール専門部、埼玉、千葉両県ハンドボール協会、埼玉、千葉両県高等学校体育連盟ハンドボール専門部ならびにTD、審判員、各校教員、看護士、補助生徒の皆様のご尽力で大きなトラブルもなく無事に大会を終えることが出来ました。年度末で人事異動や新年度の準備がある多忙な中での大会運営でしたが、関係者の皆様には重ねて感謝申し上げます。

出場チームにおかれましても、宿舎と会場までの移動の不便や交通渋滞等いろいろとご不便をお掛けしたこともあるかと思います。あらためてお詫び申し上げます。

終わりに、出場チームが見せてくれたレベルの高いプレーは、埼玉、千葉両県のハンドボール界に発展をもたらしてくれることと思います。また、この大会が、2020年東京オリンピックを控えた日本中にハンドボールという競技への興味関心の向上に繋がって行くことを願っています。

大会開催にあたり、ご支援ご協力を頂きました関係各位に重ねて敬意と感謝を申し上げますとともに、2019年熊本インターハイが成功されますことを心よりご祈念申し上げて、お礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。





第42回全国高等学校ハンドボール選抜大会





県立香川中央高等学校(香川県)

香川県立香川中央高等学校ハンドボール部主将 田井 健志

まず始めに、第42回全国高等学校ハンドボール選抜大会におきましてご支援、ご協力していただきました全国高体連専門部を始め、大会の開催にご尽力いただきました関係各位の皆様に深くお礼申し上げます。有り難うございました。

新チーム結成時に僕達は日本一という目標を立てました。その目標を達成するために、指揮官の河合先生のもと堅いディフェンスからの速攻で点をとるということを徹底して練習してきました。河合先生は19年間に亘って香川中央高校を率い、ハンドボール部を全国常連校に押し上げてくれました。その河合先生に大会二日前異動が発表され、先生にとって香川中央高校での最後の全国大会になりました。優勝したいという気持ちは当然ありましたが、その気持ちはより強く、絶対に優勝して先生を胴上げするということでチームの意思統一ができました。新チームは旧チームの経験者も多く、他校と比べて遜色のない実力はあると思っていました。しかし、精神的な柱がいないことから、僅差の試合展開になると勝ちきれないことがあり、そういったところをいつも先生に指摘されていました。

今大会の初戦では、こういった気持ちの弱さから、リードしながらも波に乗れず、不甲斐無い試合になってしまいました。試合後、ミーティングで、受け身にならず試合に臨もうという話をし、以後の試合は先攻逃げ切りの攻撃パターンで決勝まで進むことができました。決勝でも、立ち上がりは同じようなパターンで良い展開に持ち込めたのですが、前半の終盤から相手に逆転を許し、最大5点の差をつけられました。苦しい時間帯が長く厳しい試合展開となりましたが、時間が経つほどに集中力が増し、攻撃的な守備で相手のミスを誘い、優勝することができました。

今大会での一戦一戦で、チームの一体感を感じました。優勝した後の河合先生の胴上げと涙は今も忘れることができません。日本一という目標を達成できたのは、先生の指導はもちろん、遠征などに行かせていただき練習試合の相手をしてくださった他県のチームのおかげだと思っています。また、後援会の皆様やご支援いただいた先輩方にも感謝しています。有り難うございました。

最後になりましたが、今大会で運営にあたられた大会関係者の皆様、会場で応援してくださった皆様 に心よりお礼申し上げます。本当に有り難うございました。

第42回全国高等学校ハンドボール選抜大会



写真提供:スポーツイベント社

女子 優勝

明光学園高等学校(福岡県)

明光学園ハンドボール部主将 柿添 まどか

私はこの全国選抜大会で強く感じたことがあります。それは、数えきれないほどの 支えがあったからこそ、優勝という結果が残せたということです。優勝できたことで、 初めて、支えられていることの深い意味が理解でき、実感できました。

これまでの大会をふり返ってみると、自分が勝ちたい、優勝したいという気持ちが強く、周りのことはあまり見ることができていませんでした。プレーの中でも、ゴールキーパーとして自分が全部止めてチームの勝ちに貢献したい、と考える部分が強くありましたが、実はこれは自己中心的な幼い考えだったということに気づきました。

私自身初めての選抜で、1試合目は特に雰囲気がつかめず、緊張で力が入ってしまい、プレーが力みすぎてしまいました。しかし、山場と言われていた3回戦の前日に



恩師が連絡をしてくださり、気持ちが少しほぐれてきました。それをきっかけに、私の周りには、自分の生活を支えてくれる両親をはじめ、毎日指導してくださる先生方、毎試合後のケアを欠かさずしてくださるトレーナーの方、そして、目に見えないところで私たちを全力で支えてくださる人たちがいる、何不自由なく大好きなハンドボールを充実した環境でできているのも、たくさんの方々が支えてくださっているからだ、ということに、気づき始めました。

そして、1試合1試合、試合を重ねていく中で、周りへの感謝の気持ちと共に自分も成長を感じ、精神的に余裕を感じることができました。よい緊張感の中で、チームの雰囲気も高まり、自分自身も試合に臨む心の準備が充分できたことで、プレー的にも思った通りに動けました。勝ち上がる度に、仲間を信じる気持ちも強くなっていきました。周りの応援をチームの力に変えて、自分のためだけでなく、支えてくださったすべての人に優勝という結果で恩返しするためにも、絶対に優勝したい、そう思える大会となりました。

だから、この優勝はこれまでに感じたことのない喜びや嬉しさを大切な仲間と思う存分分かち合うことができた初めての全国制覇でした。と同時に、心から色々な方に感謝したいと思いました。日本一を獲った瞬間、実感はあまり湧きませんでしたが、いろいろな人から「おめでとう」や「感動をありがとう」などの言葉をもらい、そこでやっと日本一になったのだと実感することができました。諦めずに続けてきてよかったと強く感じました。

今年の明光学園ハンドボール部の目標は、三冠を獲ることです。本当の戦いはここからだと思っています。自分たちが決勝をしている時点で、ニチーム以外はもうすでにインターハイを目指して練習をスタートしていることと思います。私たちはすでに遅れています。一度優勝したからといって、決しておごらず、何のために明光学園に来たのか、本当の勝負はどこにあるのか、選手一人一人が深く考え、一日一日の練習を後悔なく取り組むことが一番大事なのだと思います。また、ハンドボール以外でも目標とされるチームになれるように挨拶や礼儀など当たり前のことを当たり前にできるだれからも応援されるチーム作りをしていきたいです。今回の大会以上に自分自身成長し、応援してくださった方に感動や喜びを味わってもらえるように頑張ります。

男子戦評: 準決勝 高崎向陵 28 (18-14、10-11) 25 北陸

子準決勝、北陸対高岡向陵の試合は高岡向陵中村のステップシュートから開幕となる。 前半序盤、北陸藤坂、谷口のミドルシュート、高岡向陵は村藤のサイドシュートや中村のミドルシュートを中心に攻撃を展開し一進一退の攻防が続く。その後高岡向陵が一瞬の隙をついたミドルシュートで3点連取し、北陸が初めてのタイムアウトを申請する。ここから点差を縮めたい北陸だが高岡向陵塚本の好セーブから速攻に持ち込まれ点差が徐々にひらき始める。この流れを維持したい高岡向陵だが、北陸の7人攻撃やポストを使った攻撃に得点を許してしまい前半終了時18対14で折り返す。

半開始、北陸は 4-2DF を展開し高い位置からシュートを打たせ徐々にペースを掴む。また北陸藤坂の豊富な運動量から得点を重ね点差が縮まっていく。残り 5 分を切ったところで北陸谷口のミドルシュートが決まり 1 点差まで追いつく。すかさず高岡向陵が最後のタイムカードを使い切る。その後高岡向陵七部、村藤、金岡のシュートが決まり 3 点差に開き、結局 28 対 25 で高岡向陵が明日の最終試合を迎えることになった。

男子戦評: 準決勝 香川中央 26 (15-8、11-10) 18 不来方

子準決勝第2試合は、香川中央木太の豪快なミドルシュートで始まった。序盤から、運動量豊富なDFから速攻や、木太のミドルシュートなどで得点を重ね、香川中央ペースで試合が進んだ。一方の不来方はなかなかリズムに乗れないなかでも、相手の退場中に連続得点するなど、辛抱強く戦い、前半は15対8香川中央リードで折り返した。半は不来方海老子川、釜石、村上の連続得点でスタートした。香川中央も谷のカットイン、山下のミドルシュートなどで得点。21対13となった10分過ぎに不来方がタイムアウト。流れを変えたい不来方だったが、逆に香川中央GK大道のナイスセーブから速攻を決められてしまう。終始自分たちのペースで試合を進めた香川中央が26対18で不来方を破り、決勝へ進んだ。

男子戦評:決勝 香川中央 26 (12-15、14-8) 23 高岡向陵

子決勝戦は向陵のスローオフから始まる。序盤は両チームとも冷静な立ち上がりだが、向陵中村のミドルシュートを皮切りに一気にテンポが速くなる。だが両チーム GK の好セーブにより中々流れをつかめず一進一退の攻防が続く。中央は綺麗なコンビネーションと多彩な個人技を持ち、田井、木太、谷、大須賀が続けて 4 点連取し、点差が開く。たまらず流れを変えたい向陵はタイムアウトを申請。ディフェンスの体制を整えた向陵は GK 塚本と共にシュートコースを限定し中央の得点を許さない。また向陵キャプテン金岡のミドルシュートを中心に得点を重ね 22 分初めて逆転する。攻撃の手を緩めない向陵は村藤のスカイプレーも決まり 15 対 12 で前半を折り返す。

半中央は変則ディフェンスで対抗しパスカットや高い位置からシュートを打たせマイボールにする。向陵は力強い 1-1 を起点にして崩し 7mT の獲得やポストシュートで応戦する。拮抗した戦いが続くが後半 22 分中央木太の速攻から同点に追いつき、残り 5 分またもや中央木太のミドルシュートが決まり逆転する。中央は最後まで足を止めず体を張ったディフェンスで守り抜き 26 対 23 で勝ち切り、平成最後の大会の幕を閉じた。



女子戦評: 準決勝 白梅学園 20 (11-8、9-6) 14 那覇西

大学決勝 1 試合目は、白梅学園伊藤のゴールで幕を開けた。那覇西も仲眞のサイドシュートで取り返すも、その後は白梅学園の 4-2DF のプレスなどで那覇西にミスが出る間に、手渡しパスなどのトリッキーなプレーで得点を重ねた白梅学園のペースで試合が進んだ。5 対 1 と白梅学園 4 点リードの 12 分過ぎ、流れを変えたい那覇西はタイムアウトを請求。その後白梅学園が 10 分間無得点の間に那覇西は上地汐、喜納、久場川らで 6 連続得点し逆転に成功。しかし焦る様子のない白梅学園は、落ち着いたプレーで小宮山、伊藤、高橋らで 4 連続得点し再逆転。11 対 8 で前半を終えた。

半は 10 分過ぎまでスローペースで進んだ。15 分過ぎには那覇西 GK 仲宗根のナイスセーブからの速攻など見せ場を作ったが、白梅学園 GK 木村もナイスセーブを見せ、流れを渡さなかった。白梅学園大谷の体を張ったルーズボールの奪取など、DF でも隙を見せなかった。手渡しパスなどトリッキーなプレーで魅せた白梅学園が決勝へと駒を進めた。

女子戦評: 準決勝 明光学園 29 (16-5、13-10) 15 不来方

来方のスローオフから始まる女子準決勝 2 試合目、強烈なコンタクトディフェンスから凄まじい速攻を繰り広げる明光学園についていくことができず、明光学園平田、白石のアウトカットシュート、中園のノーマークを許し、不来方藤原のミドルで応戦しながらも、明光学園の 2 点リードからゲームが始まる。なんとかついていきたい不来方。持ち前の高身長から織りなす 6-0DF から明光学園のセットオフェンスをミスに誘い込み不来方藤原、東のノーマーク、戸羽のミドルシュートにより 1 点差ビハインドで食らいつく。しかし、依然として明光学園の激しいディフェンスに加え、絶対的な守護神柿添の好セーブによってゴールを阻まれる、流れを変えるべく不来方は前半 18 分タイムアウトを取るものの、圧倒的なスピードによって更に得点を重ねられ明光学園白石、村上、長谷川により 10 点連取を許してしまう。前半終了間際、不来方は川村のミドルで応戦し、16 対 5 で折り返す形となった。

後半、不来方は阿部、藤原にボールを集め得点を重ねていくが、なかなか点差が縮まらず残り 10分で 12点差。 前半で開いた点差を取り戻すことができず、29対 15で明光学園が決勝へと駒を進めた。

女子戦評: 決勝 明光学園 20 (13-8、7-7) 15 白梅学園

梅学園のスローオフから始まった女子決勝。白梅学園は4年ぶりの、明光学園は初の選抜優勝を目指す。前半は明光学園6番白石のカットインでスタート。平均身長の高い白梅学園の4-2DF に対し、明光学園は速いパス回しから中園のカットインを中心に得点を重ねる。白梅学園はポストを起点に平野のサイドシュートで追いかけるも、明光学園柿添がナイスセーブを連発、じわじわとリードを広げ13対8で前半を終える。

半、白梅学園のディスタンスシュートが決まり始めると3連続得点で、3点差まで詰め寄る。しかし決定的な 大場面で明光学園柿添が白梅学園のシュートをシャットアウト。逆にポストを中心に得点を重ね3連続得点。白 梅学園の追い上げを許さない。25分白梅学園はマンツーマンDFをしかけ最後まで粘りを見せるも、明光学園が、追 う白梅学園を20対15で振り切り、平成最後の栄冠を手にした。



新利 ハンドボールスキルアップシリーズ 目からウロコのDF戦術

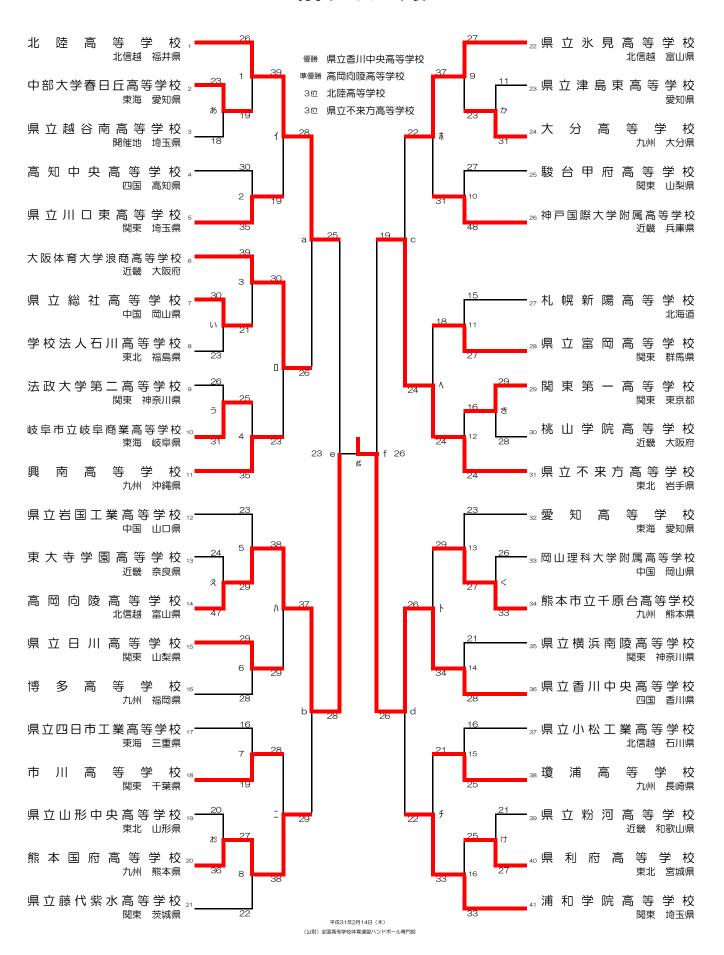
スポーツイベント・ハンドボール編集部 編著 B5判 144ページ 1,800円+税 発行元 グローバル教育出版

ハンドボールに欠かすことのできないDF。そのDFについて、1対1の守り方から始まり、チームとしての守り方まで、日本を代表する指導者が解説しています。 また、DFシステムについても詳細に紹介。「DF」ならこの1冊にお任せください。

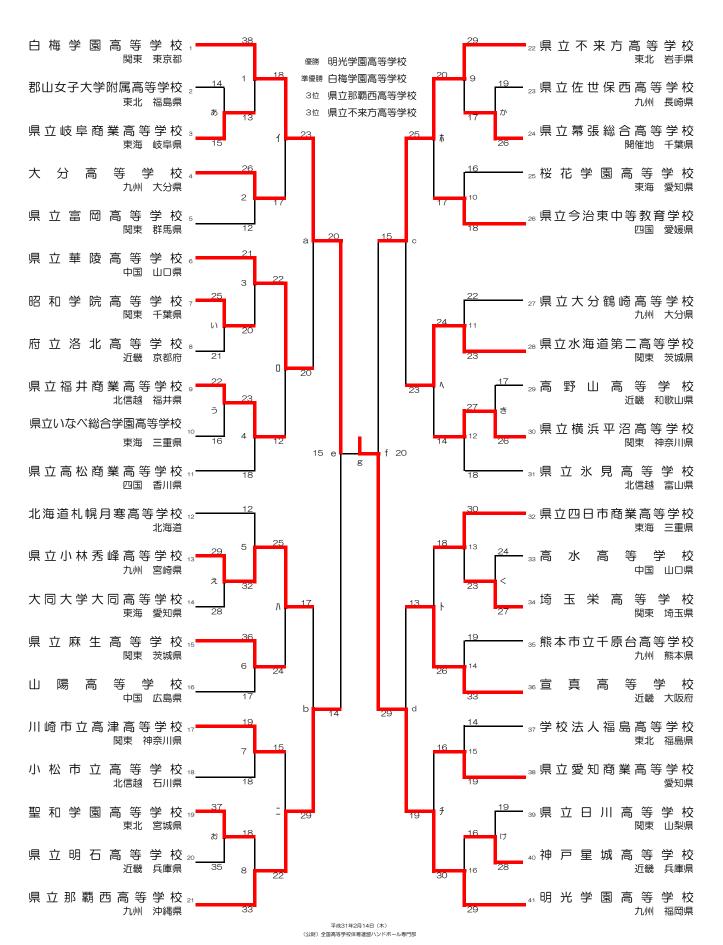


株式会社スポーツイベント 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-2 TEL:03-3253-5941 FAX:03-3253-5948

男子トーナメント表



女子トーナメント表





第14回春の全国中学生ハンドボール選手権大会を振り返り

富山県中学校体育連盟ハンドボール専門部委員長 瀬川 裕二

〜氷見に咲く君は春中ハンドの風になる〜の大会スローガンのもと、平成31年3月23日に開会式が行われ、24日から27日までの4日間全国の中学生ハンドボール選手により、「ハンドボールの聖地・氷見市」において熱き戦いが繰り広げられました。

春の全国中学生ハンドボール選手権大会は、平成 17 年からスタートし、10 回記念大会を経て、2020 年までの継続開催が決定されている中、本年度はさらに 2025 年までの継続開催が決定したこともあり、さらに気を引き締めて 1 4 回大会を迎えました。今大会は、男子の出場チームにおいて昨年に続き 47 都道府県代表が揃い、男子 49 チーム (開催地・振興枠含) 女子 47 チーム (開催地・振興枠含、新潟県・島根県不出場) 男女計 96 チームが参加しました。開会式前のオープニングアトラクション 1 部では、ハンドボールターゲットとハンドボール漫画「送球ボーイズ」の原作者フウワイ氏と作画家サカズキ氏によるサイン会を開催しました。 2 部では、昨年度誕生した氷見市発のハンドボールを基にした "ゆるスポーツ"「ハンぎょボール」を本大会参加チーム関係者・保護者様を対象に「第 1 回春の全国中年ハンぎょボール大会」を試みました。県内・全国から参加した全 7 チームがトーナメント戦で戦い、決勝は矢巾中学校、矢巾北中学校(岩手県)の保護者らでつくる「チーム東北」が氷見北部女子(富山県)の保護者チームを破り初代王者に就く等、大会の魅力向上とハンドボールの新たな価値の創出を目指す新たな取り組みで大会を盛り上げました。

競技は、氷見市ふれあいスポーツセンターをメイン会場に富山県立氷見高等学校会場と氷見市立南部中学校会場の3会場で行われ、白熱した戦いが展開されました。昨年同様、選手のコンディショニングを考慮し、氷見市ふれあいスポーツセンターには富山県アスレチックトレーナー協会の方々に常駐して頂き、無料のテーピングサービスを行いました。また、各会場にはドクターを配置し、大怪我やインフルエンザなどの感染症対策にも配慮し、選手たちが競技に集中して臨めたことを関係各位に心から感謝します。

本大会は、地域の活性化を図るという趣旨から氷見市内各地域からそれぞれのチームに"おもてなし"の精神で氷見市民がサポーターとしてチームの応援をする制度をとっています。中学生の頑張りを応援する市民も一つ一つのプレーに選手と一緒になって一喜一憂し感動を分かち合っていました。大会中は滞在が長期に渡ることから本大会とは別に"交流試合"を企画しています。新チームになってから間もないということから、交流試合も本大会と同様熱気に包まれていました。

大会の結果、女子の部は小松市立芦城中学校(石川)と横浜市立岩崎中学校(神奈川)の初優勝をかけた決勝戦となり、前半で大量リードを奪った芦城中学校が後半も危なげない戦いで初の栄冠を勝ち取りました。男子の部は、2回目の優勝を狙う福井市明倫中学校(福井)と3回目の優勝を狙う大阪体育大学浪商中学校(大阪)との決勝戦となり、前半から終始リードし続けた明倫中学校が2回目の栄冠に輝きました。男女とも1回戦から決勝戦まで選手の気持ちが込められた熱い戦いが展開され、各会場とも大いに盛り上がりました。

終わりになりますが、中学生ハンドボール選手に素晴らしい大会環境を整備し、大会を成功へと導いていただきました日本ハンドボール協会をはじめ関係各位に心より感謝申し上げます。



第14回春の全国中学生選手権大会





男子

福井市明倫中学校(福井県)

優勝

福井市明倫中学校男子ハンドボール部主将 長谷川 惣唯

中学 1 年生から全国大会で優勝することを目標に、チームのみんなで一生懸命練習してきました。時には仲間と言い合いをすることもありましたが、日々の積み重ねが、試合内容を大きく左右することを今回の春中で実感しました。

3回戦は、全小の決勝で戦ったメンバーがいる、京都府(大住中学校)でした。前半は速いパス回しや足を動かすことや、前を攻めることを意識しながらプレーし、2点リードで折り返しました。しかし、2点差しかないという焦りから、後半はパスミスやシュートミスが目立ち、逆転を許してしまいました。そこで、このままではいけない!と思い、チーム全員で声を出し、盛り上げていこうと決めました。1点1点を大切にし、ディフェンスから試合の流れを自分たちのものにしていくことが、明倫ハンドの強みなので、仲間がミスをした時は励まし合い、失敗を恐れずにプレーをしました。その結果、モチベーションも上がり、勝つことができました。

そして、準々決勝の神森戦では、途中苦戦することもありましたが、仲間を信じ、自分を信じ、指導者から教 わったことや練習してきたことを思い出しながらプレーし、準決勝に進むことができました。

準決勝の氷見北部中学校との対戦では、気合い十分で臨みました。なぜなら、これまで明倫の先輩達は、氷見 北部中学校に勝つことができなかったからです。そんな先輩達のためにも全力で戦いました。相手は最初7人攻 撃で明倫のディフェンスを揺さぶってきました。しかし、明倫の持ち味である速攻で点を重ねていくことができ ました。後半は小さなミスが増え、追いつかれてしまいましたが、不撓不屈の精神で勝利し、目標の全国優勝ま で残り1試合となりました。

決勝戦では、先生やコーチから一言、「普段通りプレーしろ!」と言われました。それは、明倫らしさを出すということです。そのことを胸に刻み、応援してくださる方々にも優勝をプレゼントしたい!という気持ちで、最後までコートを全力で走り続けました。試合終了のブザーが体育館中鳴り響き、その後の応援席からの歓声の光景は、何とも言えないくらい今も鮮明に覚えています。このチームで、ハンドボールができて良かったと改めて思いました。

最後に、いつも陰ながらサポートしてくれた家族、勝つ喜びや熱心に指導してくださった先生とコーチ、また 大声で応援してくださった方々の御支援があったからこそ、優勝に結びつくことができたのだと思います。とて も感謝しています。今後は、この結果に満足せず、夏の全中でも優勝目指し、初心にかえり「チーム明倫」で頑 張っていきたいです。

第14回春の全国中学生選手権大会



小松市立芦城中学校(石川県)

優勝

小松市立芦城中学校女子ハンドボール部主将 中川 舞香

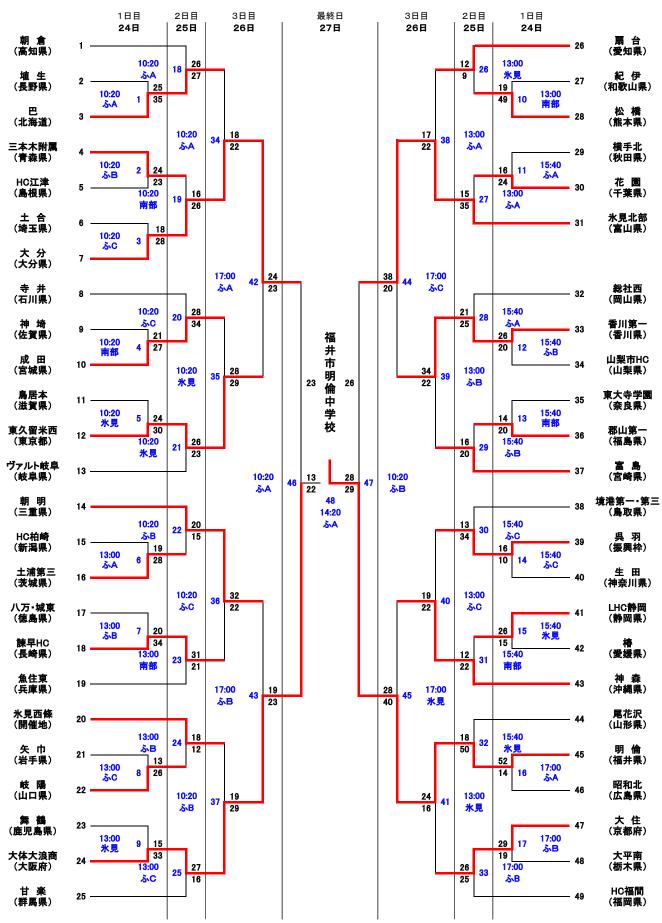
春中で学んだこと

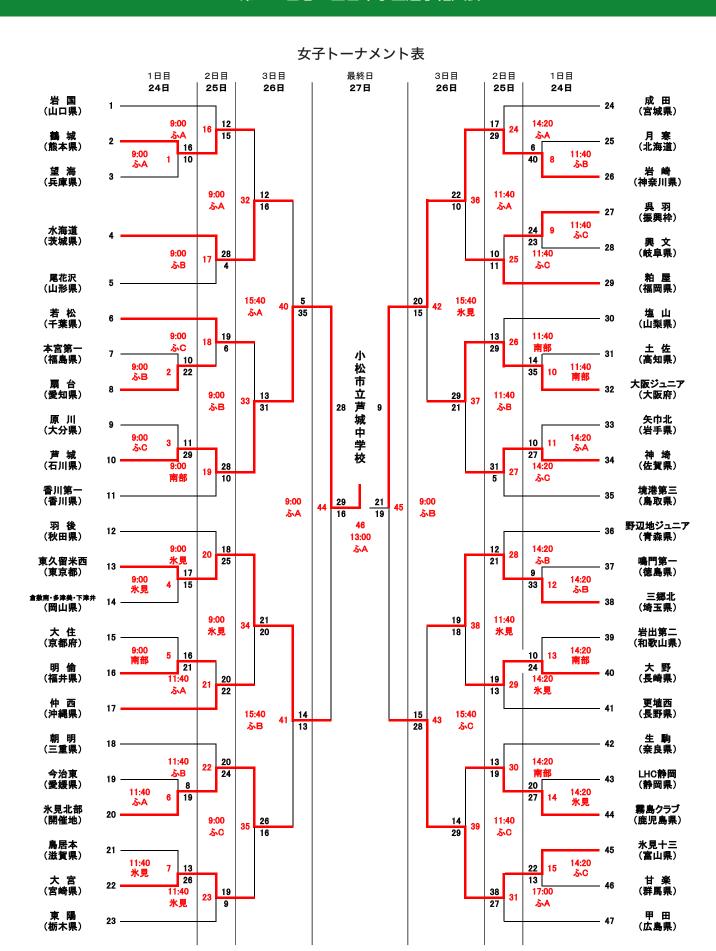
私たちの春の全国大会での目標は最終日まで残ることでした。そのために、日々の練習ではオフェンスの戦術でひとり一人が工夫して攻め、どの場面でどんなプレーをすべきかを使い分け、判断することを意識しました。ディフェンスでは、二枚目のけん制とロングを打ってくる人に対して、強くあたるということを意識しました。そして、今回練習してきたことが実り、優勝することができました。その中で私たちが学んだことがあります。

初戦の原川戦では、点が決まったらハイタッチをして雰囲気を盛り上げました。そうすることで、チームの雰 囲気が明るくなり、自分たちのペースで試合運びをすることができました。また、速攻では人任せにせず、もう 一人走ることも大切だということを実感しました。二回戦の香川第一戦では、なかなか点が入らない時に点が決 まったらガッツポーズをして気持ちを高めることが大事だと感じました。技術面も大切ですが、チームの雰囲気 がゲームに大きく影響することを感じました。また、一本一本のシュートを大切に打つこと、ディフェンスのと きのマークチェックの声かけをして失点を減らさないといけないこと、これらはいつも練習で確認していること ですが、その大切さを実感する試合となりました。三回戦の若松戦では、相手のディフェンスの形を早く判断し、 その形に合ったサインを出すことが大切だということ、相手がミスをした時に転がっているルーズボールにしが みつくこと、また相手にシュートを決められたときにすぐに改善点を話してその場で修正することが大事だと学 びました。準々決勝の水海道戦では、シュートがなかなかきまらなかった時にすぐに戻って速攻をされないこと とけん制をして相手にミスを誘うこと、三歩を速くして相手を抜くことが大切だということを学びました。準決 勝の東久留米西戦では、相手をひきつけてからパスをすること、相手がロングシュートを打ってきたらボールに しっかりあたること、シュートミスを減らすこと、前を見てシュートかパスかの判断をすることで、ゲームをこ ちらのペースですすめることができました。決勝の岩崎戦では、ボールに対しての執着心を強くすること、正確 にシュートを決めること、パスをもらいに行くこと、声をかけ合うこと、笑顔でいること、慌てず落ち着いてプ レーすること、一人に任せないことが大切だと思いました。また、勝つという気持ちをチーム全員がもっていれ ばつらい時でも乗り越えられるということを学びました。

このようにたくさんのことを学びましたが、いつも練習で意識していることだとも感じました。これからも日々の練習を大切にしていきたいです。また、このようにハンドボールができるのは、指導してくださる先生方・家族・仲間・先輩方・応援してくださるすべての方々のおかげだと思います春中という素晴らしい舞台でプレーすることができ、本当に幸せでした。これからも、感謝の気持ちを忘れず一生懸命ハンドボールをしていきたいです。本当にありがとうございました。

男子トーナメント表







FLYTEFOAMを搭載し、軽量性も追求したスタビリティモデル

BLAST FF

1071A002 / SIZE:25.0~29.0·30.0cm 本体価格:¥12,800+税



001
BLACK/SHOCKING ORANGE



412
ILLUSION BLUE/HAZARD GREEN



600 SAMBA/BLACK



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会のボラン ティアを募集します!

いよいよ、今年 11 月から、「2019 女子ハンドボール世界選手権大会」が熊本で開催されます。事務局では、大会関係者とボランティアが一つのチームとして、この大会を楽しみながら盛り上げられるよう準備を進めています。昨年の第 1 期ボランティア募集では、800 人を超える応募がありました。今回は、第 2 期募集を見据え、大会ボランティアの取り組みについて紹介します。

1 大会ボランティア "KUMAMOTO COLORS" について

事務局では、多くの方に大会ボランティアへ親しみを持っていただくため、ボランティアのチーム名を "KUMAMOTO COLORS"(クマモト カラーズ)と決定しました。"KUMAMOTO COLORS"のコンセプトは、「おもてなしの最前線で来場者を出迎え、熊本の魅力を世界に発信しよう!個性や特技を生かし、大会を華やかに彩るボランティア」です。この名称には、ボランティアの多様性を生かして、関係者と一緒に大会を盛り上げていただきたい、という想いが込められています。

2 ボランティアの研修等について

これまで、第1期のボランティア応募者を中心に、2018年の女子ハンドボールアジア選手権や、夏の国際親善試合で、ボランティア活動を経験しました。ボランティアの運営体制についての気づきも多く、本大会に向けた貴重なトライアルの場となりました。今後も、これまで同様、会場のある各開催自治体で、自由参加の研修を開催し、ボランティアの知識やモチベーションの向上に取り組んでいきます。 ※ (講座の例) スポーツボランティア研修、競技の観戦講座など

▶「おりひめトライアルゲームズ



▶「ハンドボールアジア選手権









3 大会ボランティア第2期募集について

2019年6月30日(日)まで、2019女子ハンドボール世界選手権大会ボランティア "KUMAMOTO COLORS" の第 2 期募集を行っています。ボランティアを通じて、世界大会の雰囲気をぜひ一緒に味わいましょう!詳しくは、大会ウェブページをご覧ください。

- (1) ボランティアの種類 運営ボランティア、語学ボランティア
- (2) 募集期間 平成 31 年 (2019年) 4月 22 日 (月) ~ 6月 30 日 (日)
- (3)募集要件・2019年4月1日現在、15歳以上(中学生不可)・3日間以上の活動ができる方(連続でなくて可)等

(4)募集区分 個人、グループ、団体

(5)報酬等 ユニフォーム、食事、記念品等 ※ 交通費の支給はありません。

(6)保 険 事務局で一括加入

(7) 申込方法 大会ウェブサイト(推奨)か、所定の応募用紙による郵送

【大会公式ウェブサイト】 https://japanhandball2019.com/

(8) 説明会 1回 ※この他、イベントや研修(計3回)を行います。

(9) 問 合 せ 2019 女子ハンドボール世界選手権大会組織委員会 ボランティア担当 TEL: 096-333-2558

4 "KUMAMOTO COLORS" のロゴマーク決定

2018 年に公募した "KUMAMOTO COLORS" のロゴデザインには、300 点を超える応募をいただきました。この度、厳正な予備審査を経て、ボランティア応募者や県内の高校生・専門学校生等の投票により、チームのシンボルとなるロゴマークが決定しました。今後、多くの方に親しんでもらえるよう、大会ロゴと合わせてボランティアの記念グッズや広報等に

活用します。

○作者 植木 幸子 氏 グラフィックデザイナー 大阪市

〇作者コメント KUMAMOTO COLORS の皆様が世界大会という大きな舞台でご活躍される傍らに、このロゴマークがご一緒できることになり、とても光栄です。大会が盛り上がりますよう心より応援しております!

○作品コメント ボランティアの温かさと元気で、来場者一人ひとりが笑顔になる様子を表現しました。花のように配置した、たくさんの手は「大会を華やかに彩るボランティア」を、中央の星は「笑顔で輝く来場者」を表しています。

5 さいごに

KUMAMOTO COLORS

大会まで半年あまりです。私たちも、"KUMAMOTO COLORS"のロゴマークのように、ボランティアと一緒に温かい 笑顔で世界中のお客様をお迎えしたいと考えています。2019年冬、皆様を熊本でお待ちしています!



シリーズ:東京オリンピックに向けて【その2】

1964 東京五輪: ハンドボール競技開催の悲願ならず!

(協会機関誌から抜粋)

過去の機関誌から1964年東京五輪でのハンドボール競技開催に関する動きをレポートします。

1961年2月発行(第5号)から

オリンピック東京大会でハンドボール種目の開催は、日本ハンドボール界の大きな夢であった。それが無残にもふみに じられた。1960 年 12 月 22 日の東京オリンピック組織委員会で「18 種目、ハンドボール削除」の決定がされた。

2 年前に開催内定: 1959 年 5 月ミュンヘンで開催の第 55 回国際オリンピック委員会の席上、1964 年の開催地が決まった瞬間から、ハンドボール競技もその開催種目の一つとしてその実現性が約束された。

ハンドボールは、1936 年ベルリン大会で開催されて以来、陽のあたる場所に置かれなかった。日本のハンドボール界にとどまらず世界ハンドボール界にとっても、大きな喜びであった。

12月12日付の読売新聞:憂色濃いハンドボール界に明るい話題を投じたのは、12日付けの読売新聞の記事だった。 「ハンドボールと柔道は確実、東京五輪の実施種目」と伝えた。

読売の記事から二日目の 14 日、種目検討小委員会は全 22 種目開催の方針を断念する意見が大勢を占めそれが伝えられた。

- 利だった諸条件: JOC としては種目削減問題が起きてから何を減らすか苦心した。
- 削られる種目は今後の普及に大きな打撃をこうむるだけにそれは当然のことであった。しかし、削減が動かし難い ものとなるとその削減基準を次のように決めた。
 - ・日本における普及度・アジアにおける普及度・欧州やアジアにおける普及度を勘案
 - ・比較的経費がかからないこと・・過去のオリンピックにおける実績などがそれである。
- **28** 年ぶりの夢破る: オリンピック東京大会の開催種目を決める種目検討小委員会は 12月 22日 8時から東京赤坂のプリンスホテルで開かれた。引き続き東京オリンピック組織委員会総会が何れも非公開で行われた。議題は勿論「削減問題」であり、まず小委員会は委員による無記名投票が行われ、カヌー、洋弓の削減がまず決定的となった。投票後の討論で近代五種とハンドボールが問題になった。近代五種は国内の普及度の点で、ハンドボールは水球と比べてアジア的ではないということで落とされた。こうして遂にハンドボールの悲願は残念ながらはかなく消えた。

1961年10月発行(第7号)から (最終決定)東京五輪20種目へ

第58回 IOC 総会 投票で除外決定: 1961年6月15日、ギリシャのアテネで開かれ、21日、1964年東京で開く大会の開催種目の討議が行われ約40分の討論の後、ブランテージIOC会長が「投票即決」の断を下し、オリンピック憲章で定められた22種目について投票を行った。投票は会長、役員を除いて行われ投票総数は43票。東京大会からはずす種目にマークさせるもので、ノーマークだったもの、つまり満票の支持を受けたのは、陸上、水上、ボート、レスリング、ウェイトリフティング、体操の6種目で、ハンドボールは洋弓と共に28のマークが付けられ、過半数のためこの2種目の除外が決定した。

なお、18種目縮小案のために犠牲になっていたカヌーはマーク 12、近代五種はマーク 15で共に復活、20種目の実施が決められ、日本側の用意した 18種目案(ハンドボール、近代五種、洋弓、カヌー削除)は、通過することが出来なかった。